

棒高跳び

我孫子 智美

第4回世界ユース選手権女子棒高跳10位、国際グランプリ・スーパー陸上で日本女子史上8人目、日本歴代6位、高校歴代2位となる4m00ジャンプに成功し、世界の強豪にまじって、5位入賞を果たした。また、国民体育大会、日本ジュニア選手権の2大会で優勝、名実ともに全国高校チャンピオンの称号を手にした。いまや日本の女子棒高跳の若手のホープとして期待されている。



少しずつ暖かくなつてきて春を意識できるようになつてきたこの季節、同窓生のみなさんは、いかがお過ごしでしょうか。

皆様は本校に対する期待や関心も大きいものだと思います。単に進学率という表面的な数字だけに与らわれるのではなく、一人一人の個性を伸ばしていくことが大切です。将来立派な人間として社会で活躍できるように教えるだけでなく、同窓生も今後の「光泉教育」のために、第一にキリスト教精神に基づいた人格形成です。本校は、県内でも有数のカトリックの学校です。聖書からの教えを、多くの生徒たちに吸収してもらい、心の教育の手助けにしたいと思っています。

第二に、三位一体の取り組みです。すなわち、これは、現場の先生方や保護者の皆様だけにお任せするだけでなく、我々、同窓生も今後の「光泉教育」といった事を考えていかなくてはならないということです。第三に、私が以前にも

申し上げた同窓生による光泉ネットワークの構築です。今後とも、毎年行われる同窓会・総会などを通じて、学年の枠を超えた縦と横の繋がりが必要だと思っています。これにより、卒業後も母校への協力がスムーズにいくのではないのでしょうか。このような取り組みによって、創立当初からの目標である「滋養に光泉あり！」という大きな夢を実現することができるようではないでしょうか。

また、部活動の面におきましては、今年は、残念ながら野球部の2度目の甲子園出場は目標は果たせなかったのですが、2年連続ベスト4という

成績を残してくれました。また、バスケットボール部ではインターハイ、ウィンターカップに出場し、テニス部もインターハイ、選抜大会に出場、陸上競技部では我孫子さんが、世界ユース（日本代表）に選出、国体初優勝など、全国の舞台で活躍するクラブや生徒が出てきてくれたこ

とは、私自身、一人の同窓生として、大変うれしく誇りに思っております。さらには、本校がラグビー部を創部したとの一報を聞き、我々同窓会はその驚き以上に、ラグビー部に対して、大きな期待を抱いております。光泉の生徒が花園で活躍している姿を想像するだけで

心が高まります。今後、同窓会では、日々の厳しい練習の中で、成果を挙げているクラブに關しては、積極的に支援し、より母校が発展していくための手助けをしていくと考えております。

先ほども申しましたように、本校は、創立20周年を迎えようとしており、さらなる飛躍的な発展を目指しております。目まぐるしく変化する社会をリードする人間の輩出、将来につながる知識と精神の育成を目指し、我々、同窓会は、『将来につながる光泉教育の実現』を合言葉に、学校側・保護者の皆様と協力していかうと考えております。

しかし、こうしたことは会員の皆様のお力添えがなくてはできることはありません。同窓会員の皆様におかれましても、我々、同窓会に対する活動に、今後とも、ご理解・協力の程を宜しくお願いいたします。

将来につながる 光泉教育の実現

会長 小池 慎



聖パウロ学園
同窓会会報

第15号

平成18年2月28日 発行
発行者
聖パウロ学園内
同窓会事務局
〒525-8566
草津市野路町178
☎077-564-5600
FAX 077-564-5136
http://www.schoolguide.co.jp/kou

同窓会事務局より

最近、同窓会などの担当者語り、調査の名目で住所・携帯電話番号・生年月日などの個人情報を探問い合はせています。事務局ではそのような問い合わせは一切していません。本校・事務局とは全く関係がありませんので十分にご注意下さい。

第16期生 卒業記念



イエズスは、十字架に
くぎづけにさせられる



イエズスは、十字架の
上でなくなられる



イエズスは、十字架から
おろされる

同窓生の皆さん、いま 光泉高校は躍進しています

校長 馬場 勲



同窓会の皆様方には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は本校の教育に格別のご理解とご支援を賜わり、厚くお礼を申し上げます。

この度同窓会新聞を発行されますことに心よりお喜び申し上げます。同窓会新聞を手になさる、青春の一時期を同じ学校で過ごされた生徒の活躍を思い、思いを馳せられることだと思ひます。

お陰さまで後輩は大きく活躍しています。

多くの分野で 躍進しています。

いま本校は開校18年目に入っています。これまで同窓生が築いてこられたすばらしい校風を受け継ぎ、文武両道にすぐれた生徒の育成を目指してきた結果多くの分野で目覚ましい成果をあげてきています。

大学進学の際でも着実に実績を上げてきており、平成17年3月に送り出した卒業生の大学合格数は、延べ512名に達しました。国公立大学合格は京都大学、大阪大学、

神戸大学をはじめ50名、私立大学は関関同立70名を含み462名の合格を出すことになりました。平成18年3月1日に卒業する第16期生は、273名で現在、国公立大、関同立など次々と大学合格のうれしい報が入ってきております。

4月から ラグビー部が 発足します。

伏見高校のラグビー総監督のもとに全国優勝し東芝府中で社会人として連続3回全国優勝したときの薬師寺選手を、

本校の監督として迎え入れ全国大会を目指します。また、本校の我孫子選手が女子棒高跳日本代表として世界ユース陸上選手権モロッコ大会に出場し第10位にはいりました。

他の部活動では、昨年の夏に開催された全国高等学校総合体育大会には、滋賀県代表としてバスケット男子、テニス部男子が団体出場しました。日常の地道な努力が結果としてきたと思います。また、他のクラブもそれぞれ大変頑張っております。本校で学ぶ生徒が21世紀を主体的に力強く生きるとともに、自らを律しつ、他人を思いやる心や、感動する心を持つた感性豊かな若者に成長してくれることを強く願っています。



平成16年度 聖パウロ学園同窓会 決算報告書

項目	予算	決算	増減	備考
収入の部				
前年度より繰越	1,218,183	1,218,273	-90	
14期生会費	1,476,000	1,476,000	0	246名(H16年3月卒業)
懇親会費	40,000	29,000	11,000	
預金利息	48,000	74	47,926	
収入合計	2,782,183	2,723,347	58,836	

支出の部				
会報発行費	200,000	128,205	71,795	
通信費	470,000	445,520	24,480	
事務費	60,000	49,277	10,723	封筒印刷、振り込み手数料
総会懇親会費	250,000	167,300	82,700	
慶弔費	100,000	47,250	52,750	
事業費	750,000	220,000	530,000	
積立金	550,000	550,000	0	
予備費	402,183	0	402,183	
支出合計	2,782,183	1,607,552	1,174,631	

差引残高		1,115,795		
------	--	-----------	--	--

上記残高を平成17年度に繰り越します
*この他に別途積立金が、郵便局の定期貯金で2,521,845円あります。

監査の結果、相違ないことを認めます。
平成17年8月28日
会計監査 山下 彩 ㊟

以上、相違ありません。
平成17年8月28日
会長 小池 慎 ㊟
会計 山森 貴子 ㊟

平成17年度 聖パウロ学園同窓会 予算案

項目	予算	前年度決算	前年度予算	備考
収入の部				
前年度より繰越	1,115,795	1,218,273	1,218,183	249名(H17年3月卒業)
15期生会費	1,494,000	1,476,000	1,476,000	
懇親会費	40,000	29,000	40,000	
預金利息	205	74	48,000	
収入合計	2,650,000	2,723,347	2,782,183	

積み立てを引いた額

支出の部				
会報発行費	200,000	128,205	200,000	
通信費	490,000	445,520	470,000	
事務費	50,000	49,277	60,000	封筒印刷、振り込み手数料
総会懇親会費	250,000	167,300	250,000	
慶弔費	100,000	47,250	100,000	
事業費	1,000,000	220,000	750,000	
積立金	550,000	550,000	550,000	
予備費	10,000	0	402,183	
支出合計	2,650,000	1,607,552	2,782,183	

平成17年度総会開催される



本年度の総会は、8月28日、一昨年・昨年に引き続き母校チャペルに40名余りの人数を集めて行われた。総会は、まず小池会長より挨拶と、昨年度の事業報告、本年度の事業計画が説明された。同窓会の方針の一つとしては、全国大会などに出場するクラブには積極的に支援をしてゆこう、ということが決定されている。今年は、野球部が惜しくも2度目の甲子園出場を逃し県大会2年連続のベスト4、昨年惜しくもインターハイ出場を逃したバスケットボール部は、県大会では十分力を蓄えて臨んで優勝。テニス部と陸上競技部がインターハイと国体に出場した。同窓会としては、たとえ全

国大会に出られなかったとしても、あと一歩であったということは、やはり非常に嬉しいことである。この支援については、これからの母校のクラブのますますの発展のために、さらに拡充をはかつて行きたいと思う。また、母校には、今年18期生が入学し、あと3年で創立20周年を迎える。10周年の際、同窓会は、記念礼拝の時などに使う聖書を寄付した。積立金が200万ほどになっているので、これらを使って、20周年の時に我々が何をしていかなければならないのか、何ができるのか、そろそろ考えてゆかなければならないという事も大きな課題の一つにあげられた。そして、事業報告と計画は一括して承認された。その後、総会は引き続き会計代行の山下氏から昨年度の決算報告と本年度の予算の説明がな



され、原案通り承認された(16年度決算と17年度予算については別表参照)。会はその後場所を食堂に移し、懇親会にうつった。始めに名誉会長である母校校長の馬場先生のご挨拶をいただき、その後乾杯をし、休日にも拘わらずわざわざお越し頂いた先生方と昼食を共にしながら旧交を温めた。小池会長は、今後の母校発展のために同窓会をもっと充実したものにしていきたいと考えており、そのためにはまずこの総会に多くの方々の出席をお願いしたいと話していた。

同窓生短信

5期生

上野 美鈴

一昨年12月に台湾の方と結婚してサンディエゴに住んでおります。

7期生

山森 貴子

現在、京都市の公立で

教員として忙しい毎日を送っています。担任をもち、色々な悩みもありますが、充実した日々だと思っております。先生方、同窓生の皆様にお会いしたいです。

利川 幸子

現在、埼玉栄高校で理科(生物)の教員をしています。また先生方とお会いしたいです。

北川 友美

草津青池町にある障害者施設で働いています。地元ということで、ご協力をお願いすることもあると思いますが、その時はどうぞ宜しくお願いします。

湯浅 正祥

現在、群馬県のハツ場ダムの工場の為のトンネル(3号)を作っています。現場では主に施工管理をしています。

増木 嘉人

オーストラリアに留学し、今年で3年目です。12月に帰国予定です。時々、オーストラリアでもテニスをしています。

高橋 裕輝

昨年9月に4年生になりました。昨年6月から3ヶ月間、インターシップで企業に行かせていただきました。また、昨年から続きで日本人学校の補習校で小学生22名を担当しています。毎日が充実の日々です。

田中 亜矢子

精神科のナースとして

13期生

田中 佑光

今年は、教育実習でお世話になりますが、どうぞ宜しくお願いします。実習で同級生らに再会できるのを楽しみにしています。

林 洋平

カリフォルニア大学バークレーで化学を学んでいます。

荒木 政彦

知的障害者更生施設にて指導員として働いております。なかなか顔を出すことはできませんが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

祝結婚

石橋 伸公(理科) 皆様のおかげで、昨年3月に無事、式をあげることができました。3年前、初めての担任を持ついたころは、仕事にがむしやうで、自分の将来の家庭のことなど考えられませんでした。が、ようやくそんなことを考える余裕も出てきました。家族ができるということは、自分、自分に責任が生じるということ。家族を大事にし、あたたかい家庭をつくっていききたいと思っています。

祝第二子

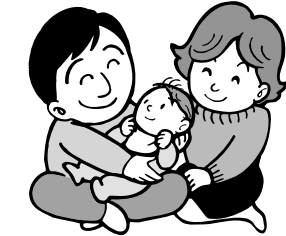
阪本 哲平 7月に次男が生まれました。子どもが出来る前まで私は子どもが苦手でしたが、子どもが出来たとたん、子ども中心の生活をしています。人間って変わるものですね。私自身驚きです。

祝第一子

岡本 康嗣(数学) 7月に長女が生まれました。生まれる前は、あまり実感もなく、また無事に生まれてくれるだろうかという不安もありました。これは私よりも妻の方が強かったみたいで、「大事な預かりものを抱えているよう」と何度も言っていました。娘は、親のそうした心配をよそに元気に育ち、生まれた直後は寝るか泣くかだったものが、半年の余を過ぎた今では、様々なものに関心を示し、動き回っています。妻とともに娘に振り回され通しの毎日です。

先生だより

と思っています。



同窓生教員誕生

去年の4月より、4期生の鎌田静氏、11期生の村岡美菜子氏、計2名が母校に戻ってこられ、教鞭をとられています。母校では平成14年以来、これで計6名の同窓生教員が誕生しています。また、去年も6月に、羽柴賀奈子（12期生・龍谷大・英語）、大橋直子（12期生・関西大・英語）、富田英里（12期生・立命館大・英語）、八幡皇（11期生・琉球大・英語）、西川亜紗子（12期生・神戸女子大・英語）、松田美穂（12期生・京都光華女子大・国語）、寺尾明日香（12期生・龍谷大・国語）、中西真美（12期生・京都光華女子大・現代社会）、



11期生 村岡美菜子（英語）
母校を卒業し、はや5年。昨年（4月）より私はこの光泉中学・高等学校で働かせていただいています。



母校に勤めて

在学中は英語に興味を持ち、卒業後、希望する外国語大学へと進学しました。

希望する大学へ進学することができたのは、毎日夜遅くまで熱心に指導してくださった先生のおかげです。光泉の先生に出会ったことにより、私は教師になるきっかけを頂いたと思います。本心に教師になることを決意したのは教育実習を終えてからです。1度に30人、40人を相手にしての、しかも初めての指導ということもあり、実

導ということもあり、実習中の2週間は、授業を行ったというよりも、緊張で終わりました。教育実習では指導教官が授業の評価をしてくださいますが、教師となつてからは、そういうわけにはいきません。教師になつてからのこの1年は、自分の指導方法が、良いのか悪いのか分からず、また、全

体の流れが全くつかめない、暗中模索の1年でした。なかなか仕事に慣れず、うまくできない自分に立ちを感じながらも、少しでも生徒に理解しやすい授業を、と学生の時に以上の勉強しなければならぬ毎日です。学生のころの勉強は自分のためだけの勉強でしたが、

今の勉強は生徒のための勉強でもあります。また、私が教師として生徒に教えている以上に、生徒は私に多くのことを教えてくれます。教師から見ただ物の見方や考え方は、生徒の見方、考え方は全く違うのだと知らされることも少なくありません。また、思っているよりも生徒はしっかり私たちを見ており、手を抜くことなどできません。1時間の授業をするためには、平均3時間の予習が必要だと言われますが、確かにその通りで、特に中学生の授業の準備にはさらに時間がかかります。それだけ時間を費やしても、いざ授業を行ってみると、予定どおりに進まず、

生徒に申し訳ないと思うことが多々あります。たかが1時間、されど1時間で、有り余るほどたくさんあるように思える時間であっても、その時間は一生のうちでもその時は貴重なもので、決して無駄にしてもいい時間などありません。だからこそ、生徒たちには、私によって無駄な時間を費やせたくありません。全く手が抜けず、プレッシャーを感じることもあります。私が高校生の時に感じた先生の熱意と、時間を大切に思えること、そして何よりも光泉中学・高等学校に入つてよかったという気持ちを今の生徒にも感じてもらえるよう、と、予定どおりに進まず、



4期生 鎌田 静（英語）

昨年4月より、母校にて英語科の非常勤講師として務めさせていただいております。恩師の先生方に叱咤激励され、大

まだまだ未熟者ですが、母校の恩師に恩返しをするとともに、また、今後の光泉の発展に役立てよう精進していきたいと思います。

生方に叱咤激励され、大学受験に挑んだのが昨日のことのようですが、早くも10年以上もの月日が過ぎました。その間、大学で英文学を学んだ後、大学院で開発学と行政学を学び、タイと豪州のNGOで働いていました。帰国後、自らの経験を教師として活かしたいと思つていたところ、母校に温かく迎え入れて頂くこととなりました。

部・クラブ活動成績

野球部

- 第87回 全国高等学校野球選手権 滋賀大会
7月14日 1回戦 光泉 2-1 東大津
7月18日 2回戦 光泉 4-3 水口
7月22日 3回戦 光泉 4-1 守山
7月24日 準々決勝 光泉 4-3 綾羽
7月27日 準決勝 光泉 1-2 彦根東
2年連続ベスト4
●秋季近畿地区高等学校野球 滋賀県大会
9月19日 2回戦 光泉 2-1 八幡商業
9月24日 3回戦 光泉 2-5 滋賀学園
3回戦敗退
●平成17年度 秋季近畿地区高校野球 滋賀県大会
2回戦 (VS草津東) 14-5 (8回コールド)
於：栗東高校
決勝 (VS綾羽) 1-5
於：国際情報高校

男子バスケットボール部

- 春季高校総体
1回戦 シード校にて不戦勝
2回戦 光泉 155対44 栗東
3回戦 光泉 146対32 彦根工業
4回戦 光泉 131対54 東大津
準決勝 光泉 121対61 大津
決勝 光泉 80対50 八幡工業
●第52回 近畿高校バスケットボール選手権大会
(成績) 3位
1回戦 光泉 85対60 近大附属(大阪)
2回戦 光泉 79対51 鳥羽(京都)
3回戦 光泉 79対64 桜宮(大阪)
準決勝 光泉 60対61 青英(兵庫)
●第58回 全国高校総合体育大会 (インターハイ)
1回戦 光泉 74対97 八王子(東京)
●第58回 滋賀県民体育大会
1回戦 シード校にて不戦勝
2回戦 シード校にて不戦勝
3回戦 光泉 168対41 安曇川
4回戦 光泉 132対33 彦根工業
準決勝 光泉 131対71 大津
決勝 光泉 99対60 膳所
●秋季高校総体
1回戦 シード校にて不戦勝
2回戦 光泉 185対12 北大津
3回戦 光泉 153対24 東大津
4回戦 光泉 127対54 石山
準決勝 光泉 119対70 八幡工業
決勝 光泉 140対49 大津
●第36回 ウインターカップ (開催地) 東京都 東京体育館
1回戦 光泉 109対95 広島商業(広島)
2回戦 光泉 74対92 市立船橋(千葉)
●知事杯滋賀県総合バスケットボール大会 (高校生チームの優勝は24年ぶり)
1回戦シード校にて不戦勝
2回戦 光泉 91対58 びわこ成蹊スポーツ大学
準決勝 光泉 83対68 サザンカ(一般2位)
決勝 光泉 90対82 滋賀教員(一般1位)
●近畿高校新人大会県予選
ベスト8決定戦
光泉 120対48 比叡山
ベスト4決定戦
光泉 152対39 八日市
決勝リーグ
光泉 112対67 八幡工業
光泉 100対54 膳所
光泉 139対74 大津

テニス部

- 滋賀県春季高等学校総合体育大会
男子団体戦
優勝(全国大会出場)
個人戦 シングルス
準優勝 田中大樹(全国大会出場)
●滋賀県ジュニアテニス選手権大会
春季 男子個人戦
シングルス 優勝 田中大樹(国体出場)
ダブルス 優勝 猪飼・奥田ペア
夏季 男子個人戦
シングルス 優勝 田中大樹
準優勝 猪飼宏基
冬季 男子個人戦
ダブルス 優勝 猪飼・田中ペア
準優勝 奥田・寺嶋ペア
3位 前田・井上ペア
●第57回 滋賀県民体育大会
男子個人戦 シングルス
2年の部 優勝 猪飼宏基(近畿大会出場)
準優勝 田中大樹(近畿大会出場)
3位 奥田良太(近畿大会出場)
ベスト8 寺嶋 啓(近畿大会出場)
前田春樹(近畿大会出場)
井上巴朗(近畿大会出場)

- ダブルス
2年の部 優勝 猪飼・奥田ペア(近畿大会出場)
2位 田中・井上ペア(近畿大会出場)
3位 前田・寺嶋ペア(近畿大会出場)
●滋賀県秋季高等学校総合体育大会
男子団体戦 優勝(近畿選抜大会出場)
男子個人戦
シングルス 優勝 田中大樹
準優勝 奥田良太
3位 猪飼宏基
ダブルス 優勝 奥田・寺嶋ペア
2位 猪飼・田中ペア
3位 前田・井上ペア
●近畿高等学校テニス大会団体の部
兼 第28回 全国選抜高校テニス大会近畿地区大会
1回戦 4-1 VS 初芝橋本(和歌山)
2回戦 0-5 VS 関西学院(兵庫)
3回戦 3-0 VS 奈良学園(奈良)
4回戦 0-4 VS 清風(大阪)
5回戦 3-0 VS 近大和歌山(和歌山)
近畿大会7位 全国選抜大会出場決定

陸上競技部

- 全国高校総体近畿地区大会 (ユニバー記念競技場:兵庫)
男子棒高跳 美藤隆耶 決勝進出
中西 渉、杉本賢吾
女子走幅跳 我孫子智美 決勝進出
川村麻友
●第4回 世界ユース陸上競技選手権大会 (アフリカ・モロッコ・マラケシュにて7/13~7/19まで開催)
女子棒高跳 我孫子智美 予選 3m90 第1位通過
決勝 3m80 10位
●第38回 近畿高等学校陸上競技対校選手権大会(皇子山:滋賀)
男子2年棒高跳 6位 中西 渉 4m30
男子1年棒高跳 3位 杉本賢吾 4m30
●スーパー陸上競技大会2005(日産スタジアム:横浜)
女子棒高跳 我孫子智美 4m00(県・近畿ジュニア及び高校新記録・日本歴代6位・高校歴代2位)
●第60回 国民体育大会・陸上競技大会(桃太郎スタジアム:岡山)
少年女子棒高跳 優勝 我孫子智美 3m80
●第23回 全日本女子陸上競技大会(国立競技場:東京)
棒高跳 優勝 我孫子智美 3m80

バレーボール部

- 平成17年度 滋賀県春季総合体育大会 (予選グループ戦) 光泉 2-1 綾羽 (男子決勝トーナメント)
光泉 2 (25-19・14-25・25-15) 1 比叡山
光泉 0 (15-25・15-25) 2 八日市
ベスト16進出
●第24回 滋賀県私立高等学校バレーボール選手権大会
光泉 2-0 綾羽
光泉 2-0 比叡山
光泉 0-2 近江
第2位にて近畿私立高校バレーボール選手権大会出場権獲得(12月開催)
●第10回 全国私学高等学校バレーボール選手権大会(大阪商業大学高校にて9/25) 順位決定グループ戦
光泉 0-2 履正社
光泉 0-2 大阪商業大学高校
光泉 0-2 甲陽学院

バドミントンクラブ

- 春季大会
福田吉行(3-3) 3回戦進出
●夏季ブロック大会(湖南) Aグループ
宇野真平(2-4)
2位(近畿予選会シード獲得)

女子バスケットボールクラブ

- 春季総合体育大会(インターハイ予選)
ベスト8
●県民体育大会
2回戦進出
●秋季総合体育大会(ウインターカップ予選)
ベスト8
●近畿高校新人大会県一次予選(ブロック大会)
1回戦 光泉 83-40 玉川
2回戦 光泉 77-59 甲西
3回戦 光泉 63-100 草津東
2位通過
●近畿高校新人大会県二次予選
1回戦 光泉 61-55 比叡山
2回戦 光泉 45-101 大津
順位決定戦 光泉 56-103 伊吹
順位決定戦 光泉 45-79 草津東
ベスト8(8位)



教える立場にあるものの、日々学生から学ぶことばかりの毎日です。母校での素晴らしい機会に感謝し、中学・高校、及び教育実習を通じ、ご指導くださった先生方に恥じぬよう、より努力していきたいです。



今春4月より正式発足

ラグビー部

ラグビー部創部にあたつて

ラグビー部監督 薬師寺 利弥



から監督としていつてみたらどうだ」というお声をかけていただき、6月に光泉中学・高等学校へやつてまいりました。

今年度からラグビー同好会として新たにスタートをきり、来年度には正式にラグビー部として活動をしていく事になりました。

私は、中学からラグビーをはじめ、伏見工業高校に進学し、3年生の時には全国大会優勝という素晴らしい体験をしました。卒業後は日本体育大学に進学し、社会人の東芝府中へ入社して3年連続日本一という経験もしました。26歳の時にラグビーを引退し、今度はラグビー部の監督として全国大会優勝を目指すという新たな夢を描いていました。偶然にも私の恩師である山口良治先生に「新しくラグビー部を作る学校がある

と体作りに没頭しました。時折、他校と合同で練習をさせていただいたり、練習試合にも混ざっていたりもしました。

はじめはもちろん、部員は一人もおらず、いろいろと声をかけながら勧誘活動をしていると、ある生徒が「先生、ラグビー部に入部したいのですが」と声をかけてきてくれたのです。記念すべき第一号の部員に、かなり興奮したのを覚えています。それからすぐに、もう一人入部し、初めは二人で活動していました。ラグビーの字も知らない子供達にルールや基本動作をはじめとし、徹底的にラグビーというスポーツを体に叩き込んでいきました。その後、7月に入り地道に勧誘していた甲斐もあつて、部員9名、マネージャー1名が集まりました。そのうち2名は経験者で、彼達を中心に、夏休みを利用して基本

と吸収成長しており、その上達スピードに驚かされています。全くラグビーというスポーツを知らなかった子供達が今では、専門用語を飛び交わせ、しっかりとしたラグビーの練習をしています。私が経験してきた練習を自分なりに改良し、今の子供達に合う練習方法を、一人ひとりに合った丁寧で、細かい指導を心がけています。

今後、同好会からラグビー部として活

目指せ！花園

ラグビー部一同

私たちラグビー部は、できて間もない部ですが、薬師寺先生と森井先生のもとで全国大会に出場するために、日々激しい練習に取り組んでいます。薬師寺先生は伏見工業高校ラグビー部の副キャプテンとして全国優勝の立役者となり、東芝府中でも全国優勝した選手です。だから部員全員が薬師寺先生を信頼し、先生を自分たちの目標として頑張っています。

ラグビー部ができた当初は、部員二人とマネージャー一人しかいませんでした。しかし、花園へ行くといい意志を持ち練習に取り組んできました。それから部員も少しずつ増え、現在では9名になりました。部員が増えたことにより、練習に活気が出てきて一段と激しくなりました。

ラグビーは15人全員が力を合わせてボールを前に進ませるスポーツです。そのため、団結力がとても重要になります。光泉チームは部員がまだ15人揃っていませんが先輩後輩関係なく、とても仲のいい素晴らしいチームで団結力には自信があります。ラグビーの面白さ

は三つあります。一つ目は過激さです。ボールを取るために激しいぶつかり合いが生じます。これはラグビー最大の魅力の一つです。二つ目はスピード感です。ただ早く走るだけではなく、急角度で曲がり、ストップし、倒れてはまた立ち上がって急加速し、クイックリーな動きで敵を翻弄します。三つ目はゲーム展開の多様性です。攻撃のパターンは無数といえるほどあり、一つのパターンも状況に応じてさまざまに変化します。



私たちはラグビーを通して、技術や体力だけでなく、礼儀も教わりました。これは将来必ずや、とても重要なものだと気づくことができました。そして何よりもラグビーの楽しさやおもしろさを知ることができました。

夏には、東大津高校と合同練習や試合をします。東大津での練習は、人数が多いため光泉での練習と違い、初めはいろいろと戸惑いました。しかし、東大津の選手のプレーを見たり、先生に指導していただいたりして、一つ一つ理解していきま

つ理解していきました。光泉チームの初めての試合は、東大津と合同チームで行いました。練習の成果を出そうという気持ちの反面、とても緊張しました。結果は、思っていたことの半分もやりたいことができず、自分たちが今まで何をやってきたのかと、とても悔やみました。だから次の試合では、もっともつと思つたことができるようにしたい、という気持ちでいっぱいになりました。

運動部 生きる力くれた

山口良治さん 体験熱く語る

草津市の光泉中・高で二一「泣き虫先生」の名前が知られる草津市の伏見工業高校ラグビー部監督の山口良治さんの講演会が開かれ、現役時代の苦労や、練習の厳しさ、体験熱く語る。山口さんは「優勝を争った今最優秀選手、体育館に集まった同中・高の全校生徒約千人を前に、山口さんは「優勝のつらさや痛みの程度を決めるのは自分。運動部の日々は生きる力をくれた」と、野球部だった中学時代、ラグビーを始めた高校時代に自身で体験した厳しい練習や、伏見工業高校の部員が努力する姿などを紹介。「みんな目標に向かって頑張つて」と呼びかけた。

光泉高には柔道、金網のラグビー部が誕生する。監督を務めるのは山口さんが推薦した教員で、伏見工業高が全国優勝した時の立役者、薬師寺利弥さん。今は同好会として活動している。

夢を持って、燃えよ青春

